

経費支弁書

日本国法務大臣 殿

国籍・地域（申請者）

氏名（申請者）

生年月日（申請者）

年

月

日

私は、この度、上記の者が日本国に滞在中の経費支弁者となりましたので、下記のとおり、経費支弁の引受け経緯を説明するとともに、経費支弁について誓約します。

記

1. 経費支弁の引受け経緯（申請者の経費の支弁を引き受けた経緯、及び申請者との関係について具体的に記載して下さい。）

2. 経費支弁内容

私、（経費支弁者）は、上記の者の日本国滞在について、下記のとおり、経費支弁することを誓約します。また、上記の者が在留期間更新許可申請を行う際には、送金証明書、又は、本人名義の預金通帳（送金事実、経費支弁事実が記載されたもの）の写し等で、生活費等の支弁事実を明らかにする書類を提出します。

記

(1) 学費:

☐ <修士> 1,409,000 円（年間）/12 ヵ月 = 117,416 円/月

☐ <博士後期課程> 778,000 円（年間）/12 ヵ月 = 64,833 円/月

*該当する方に✓を付けてください。

(2) 生活費

円 / 月

*(1)+(2)= 円 / 月

*在留資格認定証明書交付申請書の「28 滞在費の支弁方法等」と同様の金額をご記入ください。

(3) 支弁方法（送金・振込み等支弁方法を具体的にお書き下さい。）

年

月

日

経費支弁者:

住所:

電話番号:

氏名（署名）:

申請者との関係:

経費支弁書

作成例

日本国法務大臣 殿

国籍・地域（申請者）

〇〇〇

氏名（申請者）

早稲田 太郎

生年月日（申請者）

YYYY 年 MM 月 DD 日

申請者の情報をご記入ください。

私は、この度、上記の者が日本国に滞在中の経費支弁者となりましたので、下記のとおり、経費支弁の引受け経緯を説明するとともに、経費支弁について誓約します。

記

1. 経費支弁の引受け経緯（申請者の経費の支弁を引き受けた経緯、及び申請者との関係について具体的に記載して下さい。）

私は太郎の父親として、滞在中の早稲田大学への授業料等の費用を支払います。

2. 経費支弁内容

私、（経費支弁者）は、上記の者の日本国滞在について、下記のとおり、経費支弁することを誓約します。また、上記の者が在留期間更新許可申請を行う際には、送金証明書、又は、本人名義の預金通帳（送金事実、経費支弁事実が記載されたもの）の写し等で、生活費等の支弁事実を明らかにする書類を提出します。

記

(1) 学費: ☒ <修士> 1,409,000 円（年間）/12 ヶ月 = 117,416 円/月
☐ <博士後期課程> 778,000 円（年間）/12 ヶ月 = 64,833 円/月

*該当する方に✓を付けてください。

(2) 生活費 120,000 円 / 月
*(1)+(2)= 237,416 円 / 月

*在留資格認定証明書交付申請書の「28 滞在費の支弁方法等」と同様の金額をご記入ください。

(3) 支弁方法（送金・振込み等支弁方法を具体的にお書き下さい。）

銀行振込

12万円以上になるよう
ご記入下さい。

在留資格認定証明書交付申請書の28
に記載されている経費支弁者と情報
が一致するようにしてください。

YYYY 年 MM 月 DD 日

経費支弁者: 早稲田 一郎

住所: ~~~, ~~~, 〇〇state, ~

電話番号: 〇〇〇-△△△

氏名（署名）: 直筆でご記入ください

申請者との関係: 父